

安城市民ギャラリー運営委員会

令和7年12月18日(木)
午後3時30分～午後4時30分
安城市歴史博物館2階講座室

1 あいさつ

2 協議事項

(1) 令和7年度安城市民ギャラリー利用状況について

	(指定管理者による説明)
委員	他の展示室に比べ、展示室Cの利用が少ないのには理由があるのか。
事務局	C室にはガラスケースがあり、利用率の高い写真グループはあまり利用しない傾向がある。しかし、器などの立体作品の展示には向いているため、そういった展示を行いたい利用者に届くように、HPで利用イメージ画像を載せてPRできるようにしていく予定。

(2) 令和7年度安城市民ギャラリー事業報告について

	(事務局、指定管理者による説明)
委員	3歳以上が対象の講座は、児童の参加に保護者の同伴が不可欠だと思うが、何歳頃から一人での参加を認めているのか。
事務局	小学3年生までは保護者の同伴を条件としている。
委員	小さな子どもが参加できるという事は、「アニマルカリモク」は道具を使わない講座だったのか。
事務局	道具は使わず、家具の端材をボンドで接着するような内容だった。
委員	講座の参加者には、何度も参加しているような人がいるのか。それとも毎回異なる人物が参加することが多いのか。
事務局	熱心に複数の講座に参加してくれている方もいる。
事務局	中学生講座も過去に参加したメンバーが参加をしてくれている。
委員	中学生美術講座のデッサンではどのようなモチーフを描いているのか。
事務局	今年度後期の講座では、静物をモチーフとしている。
委員	教員の中にも、石膏デッサンを学びたいという声がある。 部活動の地域展開が進むなかで、中学生にとっての受け皿になるような様々な講座に参加できる機会を用意していただいているのは

	ありがたい。
委員	市民ギャラリーの石膏像には面取りの像はあるのか。中学生などのデッサン初心者には、段階的に面取りのものから初めて、徐々に曲線的な石膏像に挑戦していく方が望ましい。
事務局	ギャラリーにある石膏像は曲線的なものしかない。
委員	教員が石膏デッサンを習いたい理由は何なのか。中学生の授業の一環で行うのか。
委員	授業の一環で石膏デッサンの指導を行うことはない。ただし、受験に向けたデッサンやイラストなどの指導は教員次第で教えることもある。
委員	市民ギャラリーでは様々な講座を実施しているが、学生には移動手段が少ない。送迎してくれる親がいればいいが、近隣に住んでいない学生にとって、市民ギャラリーまで移動する手段も課題の一つになってくる。
委員	デッサン講座は何を使って描いているのか。
事務局	木炭を使ったデッサンを行っている。中学生以上を対象にしているので、中には中学生の参加者もいる。
委員	中学生の参加者は、中学生美術講座の受講生と同じなのか。
事務局	同じ子もいる。 講座に参加する中学生は純粋に絵が上手になりたい子もいれば、受験用にデッサンを学びたいという子もいる。受験用にデッサンを学びたい子には講師に相談し、そのような指導を行っていただけるよう柔軟な対応をして頂いている。
委員	指導する教員側には道具の使い方をわからないまま、指導している者もいる。例でいうと、氏名を描くときに使う筆はこうと決まっているわけではないのに、生徒に細筆を使うよう指導した教員がいるという話を聞いた。教員免許を取得後も指導についてだけでなく、制作の実務を学べる場があると良いと思う。
委員	安城市には、安教研の造形部会があり、夏休み期間中に講師を招き、教員がワークショップや講演を聞く教員向けの研修の場がある。過去にはアーティストにデッサンや授業でも使えるようなものづくりの講座を開いている。
委員	一言でデッサンといっても、受験用と一般的なものとで内容は違ってくる。日本画と洋画でもやり方は異なる。 指導する側はそういったことも理解していないといけない。

(3) 令和8年度安城市民ギャラリー事業計画について

	(事務局、指定管理者による説明)
--	------------------

委員	「つちやあゆみ展 木と音のワンダーランド」は何回か拝見したが、いつ見てもこども達が楽しそうに木でできた作品に触れて楽しんでいた。アーティストの作品に触れる機会があることは、とても良いことだ。
委員	自分も見に来たが、こども達が和気あいあいと作品に親しんでいた。こういった企画展はこども達が市民ギャラリーに親しむきっかけとなるだろう。
委員	その企画展は観にこれなかったが、どのような作品があったのか。
事務局	球を転がすと、ある曲のメロディーになる作品や、自分たちで組み替えることのできる階段状の木琴など、様々な作品があった。
委員	そういった企画展がまた安城市で開催されることになればいいと思う。

(4) その他

3 連絡事項

展示室利用停止期間のご案内（令和8年10月中旬から令和9年5月頃まで）